

次世代のスタンダード！ WAN でも使える集中管理型超高速 PC X サーバ

Exceed onDemand

Exceed onDemand 導入事例紹介 ～富士通マイクロソリューションズ～

富士通マイクロソリューションズは、最先端テクノロジーを活用した LSI の開発やソフトウェアテクノロジーを組み込んだアプリケーションシステムの設計をする、世界が注目するエンジニア集団です。同社は、オープンテキスト社（旧ハミングバード社）製 PC X サーバ「Exceed onDemand」を設計環境のフロントエンドとして活用しています。

新しい「解」を提供する次世代PC Xサーバ

Exceed onDemand（以下 EoD）は、PC X サーバとしての基本機能に加え、長距離・低帯域環境下でも安定したパフォーマンスを提供するために設計された次世代 PC X サーバです。EDA などデータ通信量が多い X アプリケーションも、ネットワークトラフィックの削減やパフォーマンスを実現する機能により、遠隔地からでもストレスなく利用できます。また、X アプリケーションの一時中断、予期せぬネットワークやクライアント PC の障害などによる切断時でも、自動的にセッションを保持することが可能です。

富士通マイクロソリューションズ株式会社は、モバイル端末やデジタル AV、車載システムなど、幅広いシステム LSI 開発を手掛ける企業です。

日々高機能化する電化製品の心臓部となるシステム LSI の開発に携わる同社は、LSI の開発業務で UNIX や Linux 環境を利用しており、設計者のフロントエンドとして EoD を導入しています。

事業推進部 担当部長（社内 IT 担当）の小杉氏は、設計環境を提供する立場として、EoD 導入による効果をつぎのように述べています。

安定性、管理性など満足いく導入効果

「EoD には、サーバとクライアント PC の通信が切れたときに、業務がその場で再開できるセッションのサスペンド（維持）& レジューム（再開）機能が搭載されています。クライアント PC の不意の故障や、回線障害でサーバとクライアント PC の通信が切れてしまうと、EoD 導入以前はサーバ側の EDA ツールが強制終了され、最初からやり直しになってしまうことがありましたが、この機能により、クライアント PC の障害時に、直前の状態に戻ることができるので、長時間の作業を行っていたユーザから、手戻りが無くて良かったと感謝されました。」と安定性、継続性の向上が導入のポイントであったことを振り返ります。

なお、「サスペンド&レジューム機能を応用し、

サーバ側の連続運転の際、設計者がオペレーションしていない間は、クライアント PC の電源を切ることができるようになり、熱や電量など環境面でも少し貢献できました。」と副次効果にも喜んでいきます。

ほかにも、SSH による暗号化でセキュアに通信できる点や、すぐれた圧縮技術を使用し、遠隔地のユーザがストレスなく EDA ツールを利用できるというメリットもありました。

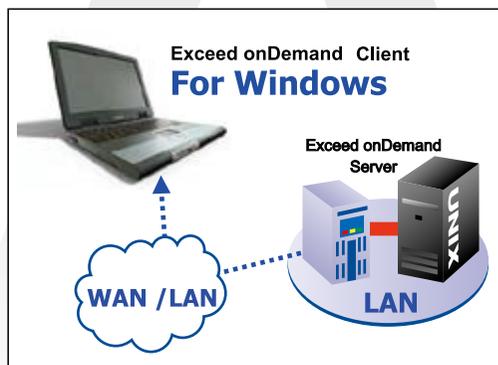
さらに、「EoD はフローティングライセンス形態なので、サーバサイドでライセンスを一元管理できるため、ソフトウェアのバージョンとライセンス数の最適化が図れました。」と、小杉氏は続けます。

最後に、「さらに万が一の安心のため、EoD のフェイルオーバー機能の進化に期待します。」と結ばれました。

EDA ツールとの親和性に評価のある EoD は、EDA 業界に適した次世代の PC X サーバであり、来るユビキタス時代を支える新しいモノ作りの設計、開発にも大いに貢献しています。



富士通マイクロソリューションズ株式会社
事業推進部
担当部長（社内 IT 担当）小杉氏



株式会社マクニカ

TEL: 045-476-1960 e-mail: hc1sales@macnica.co.jp
URL: <https://www.macnica.co.jp/>

— 無償体験版で実感！ —

Exceed onDemand の低帯域環境でも発揮する圧倒的なパフォーマンス。これまでにない豊富な機能群を体感してください。詳細はマクニカネットワークスのホームページをご覧ください。

Exceed onDemand 検索